

平成 26 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2014年4月～2015年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表
します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満
たないもの、報告書が2年連続して未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧
告させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 千葉市立白井小学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中高一貫教育
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他 ()

住所 〒265-0053
千葉市若葉区野呂町215

E-mail : sri-es@cabinet-cbc.ed.jp

Website : http://www.cabinet-cbc.ed.jp/school/es/031/index.html

児童生徒数：男子88名 女子 108名 合計196名
 児童・生徒の年齢 6歳～12歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか（ボランティア、募金活動）

4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

ユネスコスクール年次報告

千葉市立白井小学校

1 平成26年度の主題

ユネスコスクール研究主題
豊かな心をもった白井っ子の育成
～知ろう！話そう！白井のこと、世界の国のこと～

本校は、明治6年の開校から140年以上の歴史と伝統、地域や自然環境に恵まれた学校である。そこで、学校教育目標「確かな学力と豊かな心を持ち、たくましく生きる白井っ子の育成」を受け、この地区の人々が育んできた自然と伝統を受け継いでいくとともに、広い視野に立ち、異なる文化や習慣をもった人々と共に生きていく資質や能力を育てていきたいと考え、研究主題を設定した。

また、低学年では、「世界には、自分の住んでいる地域とは異なるいろいろな文化や習慣があることを知ること」高学年では「世界（自分の住んでいる地域以外）と日本（白井地区）と異なる文化や習慣があることに気付くこと」をめざして実践をしていた。

2 主な実践内容

① ユネスコルームの設置

学校のみならず保護者や地域の方々にも発信するために、「ユネスコスクールESDアシストプロジェクト」に申請を出し、その助成金でユネスコルームを設置し、「いつでも」「だれでも」活用できる部屋にし、今までのユネスコスクールの様子を展示した。



世界地図のパズルやミニ地球儀など子どもたちがいつでも利用できるように開放している。

② ユネスコスクール

白井小学校は、千葉ユネスコ協会の協力により、これまでネパール(22年度)、スリランカ(23年度)、インドネシア(24年度)、マレーシア(25年度)との異文化交流をさせていただくことができました。そして、26年度も千葉県ユネスコ協会連絡協議会ユネスコ委員長の岡本博幸先生や中田陽一先生、栄教子先生の協力を得ながら、6月28日(土)に千葉大学の韓国からの留学生11名の方々と異文化交流を行った。当日は、祖父母学習参観と同日に行い、より多くの方に参観してもらえるようにした。



<ユネスコスクール実施前の取り組み>

昨年度までの実践から、児童の関心意欲を高め、効果的にユネスコスクールを実施するためには、「事前学習⇒当日⇒振り返り」といった学習過程を大切にしていく必要があるということがはっきりしてきた。

そこで、今年度も事前学習として全校に韓国の民族衣装や言葉についてのワークシートを配付し、それぞれの学年の児童の実態に応じた取り組みを行った。

<当日の活動の様子>

韓国からの留学生の方々による自己紹介に始まり、韓国の紹介のプレゼンテーション、迫力のあるサムルノリの演奏を聴き、楽しい時間を過ごした。



<ユネスコスクールのプログラム>

【はじめの会】

- ・はじめの言葉
- ・校歌斉唱
- ・学校長挨拶
- ・ユネスコ協会の方及び留学生の皆さんの紹介

【交流会】

- ・ユネスコの役割と活動について
- ・メンバーの紹介
- ・韓国の紹介(留学生の皆さん)
- ・韓国の音楽(サムルノリの演奏)

【お礼の会】

- ・4年生の発表
- ・お礼の言葉、花束贈呈
- ・おわりの言葉

サムルノリの演奏の様子

体育館においての交流後、各学級に分かれて韓国からの留学生の方々と一緒に会食をした。韓国の生活や子どもたちの様子など様々なことについて話を聞き、日本とは違う文化に触れることができた。

昼休みにも、楽器などに触らせていただき、より交流を深めることができた。



一緒に会食をしている様子



昼休みの交流の様子

<ユネスコスクール実施後の取り組み>

ユネスコスクール実施後の感想をカードに書き、中田先生を通じて、来校してくださった留学生の方に送った。また、この今年度は、中田先生のご配慮により、「千葉ユネスコ協会会報 No. 73 (盛夏号) 別紙」に感想を掲載していただいた。

<児童の感想より>

見たことのない楽器を見せてくれてありがとうございました。どんな音が鳴るのかわくわくして聴きました。私も韓国に行ってみたいなと思いました。韓国は楽しそうな感じがしてきました。給食を一緒に食べてくれてありがとうございました。(1年生)

韓国の方が来るということで、どんな人が来るかドキドキしていたけれど、校歌を歌った時に優しい顔で拍手してくれたのでうれしかったです。楽器の演奏では、迫力があり、楽しそうに顔を見合わせて演奏する姿はとても魅力的でした。給食の時に来てくれたジョン・ソファンさんも一つ一つの質問に丁寧に答えてくれて、とても誠実な方でした。これからも、いろいろな国の人と交流をしていって日本の文化を広めたり、他の国の文化を取り入れていきたいです。(6年生)

③ 書き損じハガキの回収

年間を通して、児童会の活動として各学級に書き損じハガキPOSTを設置し、回収を行っている。校内放送でどのように使われているのかを知らせ、協力を呼びかけた。集まった書き損じハガキを今年度もユネスコスクールの時に手渡した。



④ 地域との交流

自分の住んでいる地域のことを知り、地域を愛する心を育てるために地域の方々の協力を得て、豊かな心をもつ活動を行った。

<ハス見の会>

校内にあるハス池に咲くハスの花を見に来ていた地域の方々の様子。



<パン作り>

地域のボランティアの方にパン作りを教えていただいている様子。



<どんど焼き>



日本の新年行事である
どんど焼きに参加している
様子。

※どんど焼きと
は、子どもたちの無病息災
を祈り正月飾りなどを焚
きあげる伝統行事。

3 実践を振り返って

ユネスコスクールに加盟し3年目を迎え、ユネスコスクールをはじめとし、
様々な体験活動を通して豊かな心を育むことができた。これからも学校を中心
として保護者や地域の方々と連携を図りながら、「豊かな心もった白井っ子の育
成」を目指してより一層の教育活動の充実を図っていきたい。

(2) 活動時間について(下記から選択して下さい。)

- 通常の授業時間を使用(総合的な学習の時間を含む)
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他()